＜令和８年度報告＞

令和７年度　山形広域環境事務組合地球温暖化対策実行計画取組状況

当組合では、地球温暖化対策の推進に関する法律 第 21 条第 1 項に基づき、令和４年７月に地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定しました。計画最終年度（令和 12 年度）には、基準年度（令和元年度）より、2,000t-CO_2 削減することを目標として取り組んでおります。以下、同法 第 21 条第 16 項に基づき、実行計画の進捗状況を報告します。

なお、令和 6 年 4 月の法改正により地球温暖化係数が変更されておりますが、旧係数で算出した基準年度排出量及び目標値との経年比較を行うため、各年実績値についても引き続き旧係数で算出し、達成度の検証を行います。新係数での算出値は、参考値として併記するものとします。

1　計画の基本的事項

（1）計画の対象範囲

当組合で管理・運用している以下の４施設と組合事務室

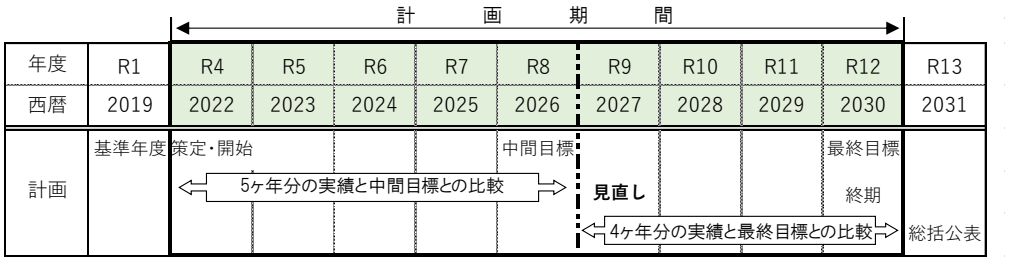
- 山形広域クリーンセンター（し尿処理施設）
- 立谷川リサイクルセンター（粗大ごみ等処理施設）
- エネルギー回収施設（立谷川）（一般廃棄物焼却処理施設）
- エネルギー回収施設（川口）（一般廃棄物焼却処理施設）
- 山形広域環境事務組合事務室（山形市役所内）

また、対象とする温室効果ガスは以下の 4 種類

- 二酸化炭素（CO_2）　・メタン（CH_4）　・一酸化二窒素（N_2O）
- ハイドロフルオロカーボン（HFC）

（2）計画期間

策定年度の令和４年度（2022 年度）から令和 12 年度末（2030 年度末）まで
令和９年度（2027 年度）に計画の見直し



（3）目標値

中間目標年度令和 8 年度（2026 年度）の温室効果ガス総排出量は、

基準年度から 1,116 t-CO_2 削減し、44,394t-CO_2

最終目標年度令和 12 年度（2030 年度）の温室効果ガス総排出量は、

基準年度から 2,000 t-CO_2 削減し、43,510t-CO_2

2　令和 7 年度の取り組み

（1）令和 7 年度温室効果ガス排出状況

令和 7 年度の温室効果ガス総排出量は、下記のとおり **38,594.7t-CO_2** となり、基準年度の総排出量 45,510.5t-CO_2 と比較すると、**6,916t-CO_2** の削減となりました。

エネルギー起源 CO_2 は電気・燃料使用量の削減、非エネルギー起源 CO_2 は廃棄物搬入量の減少が要因となり、全体的に目標値以上の削減となりました。

温室効果ガス排出量の集計表（エネルギー起源・非エネルギー起源別）

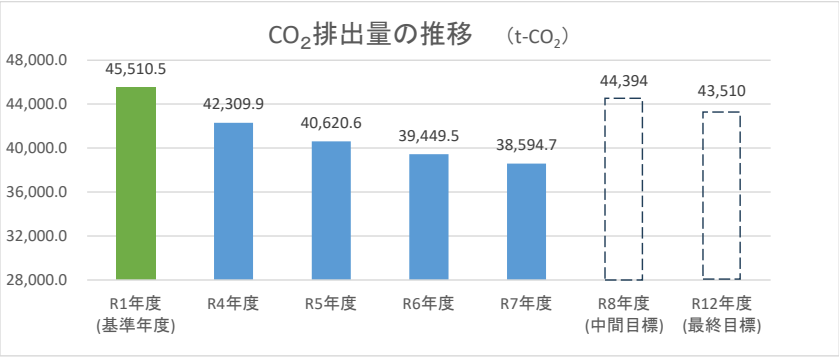
下段の（ ）内数値は、令和6年4月以降の法改正後の係数による算出値

		R1年度（基準年度）	R4年度（実績）	R5年度（実績）	R6年度（実績）	**R7年度（実績）**	R8年度（中間目標）	R12年度（最終目標）	前年比（R7/R6）
エネ＋非エネ合計	全体CO_2排出量（t-CO_2）	**45,510.5** *(45,354.1)*	**42,309.9** *(42,160.3)*	**40,620.6** *(40,476.8)*	**39,449.5** *(39,308.0)*	**38,594.7** *(38,456.6)*	*44,394*	*43,510*	−2.2% *(−2.2%)*
	基準年度との差(小数点以下四捨五入)		△ 3,201 *(△3,194)*	△ 4,890 *(△4,877)*	△ 6,061 *(△6,046)*	**△ 6,916** *(△6,897)*	*△1,116*	*△2,000*	-
	基準年度比		−7.0% *(−7.0%)*	−10.7% *(−10.8%)*	−13.3% *(−13.3%)*	**−15.2%** *(−15.2%)*			

	施設	R1年度（基準年度）	R4年度（実績）	R5年度（実績）	R6年度（実績）	**R7年度（実績）**	R8年度（中間目標）	R12年度（最終目標）	前年比（R7/R6）	前年度との比較（増減に関わる主な要因）
エネ起源CO2等	山形広域クリーンセンター	980.6 *(980.6)*	703.8 *(703.8)*	446.5 *(446.4)*	292.3 *(292.3)*	**301.0** *(301.0)*	*932.4*	*895.6*	3.0% *(3.0%)*	電気使用量は削減したものの、電気事業者別係数が上昇したことによる増
	立谷川リサイクルセンター	516.1 *(516.1)*	532.9 *(532.9)*	507.8 *(507.8)*	439.5 *(439.5)*	**447.9** *(447.9)*	*490.9*	*471.6*	1.9% *(1.9%)*	電気使用量の増及び電気事業者別係数の上昇による増
	エネルギー回収施設（立谷川）	1,889.9 *(1,889.9)*	1,241.2 *(1,241.2)*	1,421.5 *(1,421.5)*	1,113.1 *(1,113.1)*	**1,054.5** *(1,054.5)*	*1,797.3*	*1,726.5*	−5.3% *(−5.3%)*	灯油使用量の削減による減
	エネルギー回収施設（川口）	1,289.2 *(1,289.2)*	758.7 *(758.7)*	727.9 *(727.9)*	669.7 *(669.7)*	**678.6** *(678.6)*	*1,226.0*	*1,177.8*	1.3% *(1.3%)*	軽油使用量の増加による増
	事務局	8.5 *(8.5)*	8.3 *(8.2)*	7.6 *(7.6)*	7.0 *(6.9)*	**6.1** *(6.0)*	*8.1*	*7.8*	−13.1% *(−13.2%)*	公用車ガソリン使用量の削減による減
	CO_2排出量（t-CO_2）	4,684.4 *(4,684.3)*	3,245.0 *(3,244.9)*	3,111.4 *(3,111.3)*	2,521.7 *(2,521.5)*	**2,488.1** *(2,488.0)*	*4,454.7*	*4,279.3*	−1.3% *(−1.3%)*	
	基準年度との差(小数点以下四捨五入)		△ 1,439 *(△1,439)*	△ 1,573 *(△1,573)*	△ 2,163 *(△2,163)*	**△ 2,196** *(△2,196)*	*△ 230*	*△ 405*	-	
	基準年度比		−30.7% *(−30.7%)*	−33.6% *(−33.6%)*	−46.2% *(−46.2%)*	−46.9% *(−46.9%)*				

	施設	R1年度（基準年度）	R4年度（実績）	R5年度（実績）	R6年度（実績）	**R7年度（実績）**	R8年度（中間目標）	R12年度（最終目標）	前年比（R7/R6）	前年度との比較（増減に関わる主な要因）
非エネ起源CO2等	山形広域クリーンセンター	27.9 *(29.8)*	26.0 *(27.7)*	24.6 *(26.2)*	24.4 *(26.1)*	**23.4** *(25.0)*	*18.6*	*18.3*	−4.1% *(−4.2%)*	搬入量減少に伴う減
	エネルギー回収施設（立谷川）	21,312.3 *(21,229.7)*	20,600.2 *(20,520.4)*	19,868.7 *(19,791.7)*	19,842.5 *(19,765.6)*	**19,451.9** *(19,376.6)*	*20,758.7*	*20,390.3*	−2.0% *(−2.0%)*	搬入量減少に伴う減
	エネルギー回収施設（川口）	19,485.9 *(19,410.3)*	18,438.7 *(18,367.2)*	17,615.9 *(17,547.6)*	17,060.9 *(16,994.7)*	**16,631.3** *(16,566.9)*	*19,161.9*	*18,821.9*	−2.5% *(−2.5%)*	搬入量減少に伴う減
	CO_2排出量（t-CO_2）	40,826.1 *(40,669.8)*	39,064.9 *(38,915.3)*	37,509.2 *(37,365.5)*	36,927.8 *(36,786.4)*	**36,106.6** *(35,968.5)*	*39,939*	*39,230.5*	−2.2% *(−2.2%)*	
	基準年度との差(小数点以下四捨五入)		△ 1,761 *(△1,755)*	△ 3,317 *(△3,304)*	△ 3,898 *(△3,883)*	**△ 4,719** *(△4,701)*	*△ 887*	*△ 1,596*	-	
	基準年度比		−4.3% *(−4.3%)*	−8.1% *(−8.1%)*	−9.5% *(−9.5%)*	**−11.6%** *(−11.6%)*				

※表計算上の端数処理により、合計値が合わない場合がある。



（2）今後の取り組み

上記のとおり、令和 7 年度は廃棄物搬入量の減等で基準年度より 15.2%の減、前年度より 2.2%の減となりました。引き続き、職員一人一人が日頃から節電や燃料使用量の削減を心掛け、年に 1 回各施設の担当者で開催する「推進担当者会」において、更なる温室効果ガス削減の検討を行い、最終年度の目標達成に向けて取り組んでまいります。